

7月定例教育委員会 会議録

日 時	令和2年7月8日(水) 午前9時30分～午前10時00分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	小林教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員
出席事務局職員	饗場教育部長・土屋教育総室長・板山生涯学習室長(生涯学習課長兼任)・樋口総務課長・内藤学事課長・寺田学校教育課長・田中歴史文化財課長・宮川総務課課長補佐・橘田総務課課長補佐・吉田総務課主任
傍聴人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の指名 原委員

・6月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

小林

末木

市川

岡田

原

1 開会

小林教育長

これより7月定例教育委員会を開会します。

(1) 教育委員あいさつ

原委員

あいさつに先立ちまして、この度の熊本県はじめ九州地方の豪雨災害により甚大な被害に遭われました皆様にお見舞いを申し上げますと共に、お亡くなりになりました方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

改めまして、おはようございます。自粛要請解除後、東京都内を始め全国各地で予想通り懸念していた感染者増加が止まりません。

このような状況下で、やっと5月24日の入学式をかわきりに再開した甲府の各学校をはじめ、各施設の運営に携わっている皆様におかれましては、一瞬の判断の遅れが重大な結果になりかねません。正に薄氷を踏む様な思いで日々業務をなさっていることと推察いたします。先ずは、これまで教育長始め皆様の迅速な情報収集と的確な判断により子どもたち・市民の皆様の生活が維持されてきていることに心より感謝申し上げます。

さて、コロナウイルス対策に追われているうちに今年もあっという間に半年が過ぎ、早くも7月になりました。例年でしたらこの時期には、新年度から異動で着任なされた方々のお名前やお顔も覚え、お人柄や雰囲気を感じられるのですが、今年は何となくしっくりいたしません。それは恐らく歓迎会などの交流もなく、昨年は4月から6月までに13もの公務や行事参加がありましたがそれらがほとんど中止・延期となり、それぞれの場面で関わりあえたはずの人間関係がなかったからかなあとと思います。

今回の自粛によるこの様な人間関係の希薄さは、恐らく教育環境の場でも起こっていると思われまます。特に新小学校1年生は、初めての学校で友達もあまりいない中、ソーシャルディスタンスや握手もスキンシップも禁止され、マスク越しで表情もよく読み取れずに会話をしなければならない状況です。

これでは、社会生活の基礎となる友だちづくりや集団生活に将来支障をきたさないか、また、幾つもの小学校から集まった新中学1年生や甲府商業や商科専門学校の新入生の中には、市外・県外からの生徒や学生もいることでしょうか。それぞれの新しい環境に不安や困惑はないかと懸念しております。

先日の校長会の折、市川職務代理者のご挨拶の中でも、「新採用の先生方への配慮について」触れられておりましたが、各学校の新入生へ見守りにについても、ぜひ例年以上にご留意をお願いしたいと思います。

未だコロナウイルスの感染勢いは衰えてきません。国内外を問わず見まわしてみますと一概には言い切れませんが、感染増加の根源に「自己中心主義や自分勝手な行動」がある様に感じられます。このウイルスにとっては、そういう考えや行動をする人間が格好のターゲットで、思いやりのある人間は苦手ということがみえてきます。このウイルスに立ち向かうには、自分をそして他人を「思い遣る心」で行動することではないでしょうか。

甲府市では25年以上前から「思い遣る心」を教育重点目標に掲げておりますが、その「思い遣る」の対象は、①他人②集団や社会③自分④自然や生命である。と伺っております。この教育理念は今回のコロナウイルス感染対策に大変重要なキーワードではないでしょうか。私には魔法の言葉にも聞こえます。

ぜひ改めて甲府の子どもたちにしっかりと理解し受け止めて欲しいと思います。

また、6月末の新聞報道によりますと、「総務省はオンライン授業やテレワークなど対応を進めるために全国への光ファイバー回線の整備計画を2年前倒しし、2021年度までにほぼ全世帯で利用できるようにする」とのことです。計画通りに実現できることを期待します。

今回の事態で奇しくもテレワークにより、会社も住居も都心にある必要はない。と地方に目が向けられ始めてきました。

また、オンライン授業もしっかりと確立できればコロナ後も、例えば不登校や病気で登校できない子どもへ利用も可能になるのではないのでしょうか。止まない雨はない。明けない夜もない。

見えない敵に翻弄されて下を向いてばかりでは何とも悔しいです。この生活環境の中で少しでも前向きに過ごしていきたいものです。

社会が大きく変革する兆しを感じます。ピンチはチャンスとも言われます。

より良い方向へ変革することを願っております。

ご静聴、ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

小林教育長

会議録の署名委員は、原委員を指名します。

(3) 前回会議録の承認

小林教育長

前回の議事録について、何かご意見はありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

小林教育長

第11号 甲府市議会6月定例会の審議状況について
資料に基づきまして、樋口総務課長から説明をお願いします。

(樋口総務課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

市川職務代理

まず、スマートフォンについてですが、今後は学校にスマートフォンを持ってきて良いという新しい方向になりますが、今までは使わせない方向でやってきたので、180度方向転換という形になるかと思えます。学校のなかで、どのように活動していくのか考える必要があると思えます。また、いろいろと問題も出てくるのではないかと思えます。

次に、オンライン授業について、全く新しい授業の形態であります。新たな課題や子どもに格差が生じないか危惧されますので、そういうことがないように指導していただきたいと思えます。

土屋総室長

スマートフォンの持ち込みについては、大きな方針転換となりますが、授業や部活動の妨げにならないようにしながら、排除ではなく有効に活用していく方向でルール作りと啓発活動を行うことになろうかと思えます。

オンライン授業については、基本的には対面授業を軸に置きながら、相互に補完できる仕組みが必要かと思います。集合研修の開催など厳しい状況ですが、段階を踏みながら計画的にやっていきたいと考えています。

原委員

実際にオンライン授業をしているのを見てみると、一方的な授業ではなく、観ている側の子どもに伝わっているかの確認作業が必要になってくるのではないかと思います。課題が多くあると思いますが、そのような点も考えていただければと思います。

岡田委員

オンライン授業に関しては、中学校で定期テストが行われておりますが、配信した内容も出題範囲として、見直しなどの指導をしているようです。コロナ対策で始まったものではありませんが、復習にも活用できるものとして良いと思います。

土屋総室長

コロナの問題で始まり、試行錯誤して現在の形になりましたが、先生方が子どもたちのためにといい思いを持ち、例えば45分の授業を15分でまとめることは、わかりやすく、濃密なものとしてまとめており、ご苦労されたのだと思います。

また、動画での予習復習やテスト前の確認にも利用できるのではないかと思います。今後、保護者のご協力を得ながら進めていきたいと思っています。

小林教育長

ほかにはないでしょうか。

原委員

学校給食について、小学校は単独調理方式を採用しているとのことですが、中学校はどうなっていますか。

内藤学事課長

中学校は、委託業者が給食センターをもっておりまして、そちらで作っていただいております。

原委員、

埼玉県で約3,500人の食中毒が発生しました。食中毒対策をしている上に、コロナ対策でご苦労あるとは思いますが、その点もご注意をいただき、子どもたちは、給食再開をすごく楽しみにしていましたので、よろしく願いいたします。

小林教育長

よろしいでしょうか。

では、報告事項を確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

小林教育長

その他ですが何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

小林教育長

それではこれもちまして、7月定例教育委員会を閉会します。